

# きほく人奮闘記



鬼北町トレッキング協会 会長  
 やました たけし  
**山下 武さん**

四国西南地域最高峰である高月山を主峰とした1,000m級の山々が立ち並ぶ「鬼が城山系」。足摺宇和海国立公園の一角でもあるこの山系の魅力を発信しているのが、鬼北町トレッキング協会です。

「鬼が城山系は、約40分で登頂できる誰もが楽しめる山」と、その魅力を話す山下武会長。春にはシャクナゲ、秋には紅葉など、四季折々に多彩な表

情を見せる山系も魅力の一つです。山下会長は「安全第一」を心がけながら、その時季にしか見ることでできない鬼が城山系の風景を楽しんでもらおうと、年間約100人を超える人を山系へ案内しています。

「海や川が綺麗なのは、風光明媚な鬼が城山系があってこそ」。そう話す山下会長は、子どもたちにその素晴らしさを知ってもらいたいと感じています。「子どもたちと自然の中で楽しく遊びながら、自然環境の大切さを伝えていくことも私たちの使命」と、目を輝かせていました。

また、山下会長は環境省からの委嘱により「自然公園指導員」としても活躍。国立公園等における動植物の保護や美化活動、事故防止等について、利用者への指導を行っています。そういった山下会長の自然保護に関する活動、また、自然保護思想の普及に尽力してきた功績が認められ、6月21日「愛媛県自然保護協会会長表彰」を受章しました。

山下会長によれば、「登山は山頂を目指すもの。一方、トレッキングは山頂を目指さず、自然の中で五感を使い癒されながら山を歩くこと」だと言います。山下会長は、「トレッキングが鬼が城山系のみならず、山や自然に親しむきっかけになれば嬉しい」と笑みを浮かべながら話し、「山や自然が好きな方、ぜひ一緒に山の案内人をしてみませんか」と、その活動の魅力をPRしていました。

## 鬼王丸のほのぼの日記

作 榎形 浩人  
 絵 にのみや なつみ



## 人口と 5/31現在

### 世帯数

人口	10,725人
男性	5,013人
女性	5,712人
世帯数	5,115世帯

※外国人住民を含みます。

**編集後記**  
 ▼今年開催される「愛媛県なぐえひめ国体」のデモンストレーションスポーツとして行われたトランポリン会場では、オリンピックで活躍された中田大輔選手と、棟朝銀河選手による圧巻のパフォーマンスが披露されました。空中にいるわずかな秒間に、いくつもの技を繰り出す2人の姿に、世界を舞台に戦う人の凄さを実感しました。また、そんな選手とともに会場を湧かせた、日吉トランポリン教室の子どもたちにとっても、忘れられない経験となったのではないのでしょうか。えひめ国体まで残り100日を切りました。ぜひ、会場に足を運び、トップレベルの選手が繰り出す試合模様を、目に焼き付けていただきたいと思います。(悠)